

平成30年度事務事業評価シート（平成29年度決算）

事業コード	1710 - 1 -	作成者氏名	福田 勝文	連絡先	0833-71-0700
事務事業名	簡易水道事業	担当課	水道局業務課		
予算費目	簡易水道特別会計	款	項	目	
第2次 総合計画	基本目標	コード	4	項目	自然と都市が潤いゆたかに調和したまち 快適に暮らすために 安全でおいしい水の供給
	重点目標		2		
	政策	ド	7		
					第2次総合計画 168頁

対象	牛島で簡易水道を利用する市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	安全・安定した水を供給する。
事務事業の概要	安定給水を実現するために、施設維持管理を行う。		

事務事業の成果指標	単位	28年度実績	29年度			32年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）					業務評価	重点業務	
		指標名 事業費	単位 単位	28年度実績 28年度決算	29年度実績 29年度決算	30年度目標 30年度予算			
1	一般管理事務	事業費	千円	4,533	4,528	4,529	A		
2	牛島簡易水道業務	● 事業費	千円	3,596	4,682	4,713	A	◎	
3		事業費	千円						
4		事業費	千円						
5		事業費	千円						
6		事業費	千円						
7		事業費	千円						
8		事業費	千円						
9		事業費	千円						
10		事業費	千円						
11		事業費	千円						
12		事業費	千円						
13		事業費	千円						
14		事業費	千円						
15		事業費	千円						
直接事業費の合計（千円）		A		8,129	9,210	9,242			
職員人件費等		業務量（人工数）		—	—		【業務評価】 A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：29年度を以て廃止・終了 —：一時的に実施無し		
		人件費（千円）	B	—	—				
人件費を含む総事業費（千円）		A + B		8,129	9,210				
財源内訳		国庫支出金							
		県支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源		8,129	9,210				

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
安定給水を実現するために、施設維持管理が最重要項目であるため。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 必要な修繕、施設整備を実施しながら、安定した給水を実施することができた。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 有収水量は、微増・微減の範囲内においてほぼ横ばいで推移している。給水人口は、高齢化、減少傾向にあるので、今後の有収水量の動向は注視する必要がある。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 牛島簡易水道は、非常に厳しい機器使用条件下での施設維持管理を実施している。供用開始当初より塩害による想定外のポンプ等機器の故障が多発したが、職員、業者それぞれの知識を基に改良を重ね、現在の安定した施設を構築してきた。維持管理を実施するにあたっては、安定給水を最重要に考慮し、可能な限りリスクを冒さないよう努めている。また地元自治会の協力により水道料金収納率は常に100%を維持している。従って現在のそれぞれの役割分担は適切である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	宮崎 英博	最終評価責任者 （部長名）	福島 正
--------------------	-------	------------------	------